

## 豊田市公共施設利活用可能性調査業務委託プロポーザル 評価基準

表 1 業務経歴及び業務体制

選定評価項目	評価項目		評価点
企業の 業務実績 (5点)	・過去5年以内の同種業務（サウンディング調査又は公民連携事業の導入手法検討業務）の実績	・6件以上	5
		・5件	4
		・4件	3
		・3件	2
		・2件	1
業務担当者の能力 (20点)	・業務担当責任者としての過去5年以内の同種業務（サウンディング調査又は公民連携事業の導入手法検討業務）の実績	・3件以上	10
		・2件	5
		・1件	1
	・技術者の過去5年以内の同種業務（サウンディング調査又は公民連携事業の導入手法検討業務）の実績	・3件以上	5
・2件		3	
・業務担当責任者又は技術者の資格 技術士（総合技術監理部門-都市及び地方計画）（技術者に限る。）、認定ファシリティマネージャー又は不動産鑑定士の保持	・（加点）業務担当責任者又は技術者が、認定ファシリティマネージャーの資格を有している	2	
	・（加点）業務担当責任者又は技術者が、不動産鑑定士の資格を有している	2	
	・技術者が技術士（総合技術監理部門-都市及び地方計画）の資格を有している	1	
業務担当責任者の実績 (10点)	・公民連携事業の導入手法検討業務及び成果（主たる業務1件） ※業者参画意向調査、官民連携事業手法検討における知見等が、本業務の履行に有効か	・下記に加え、本業務の履行において、特に有効な検討手段や成果が確認できる	10
		・業務内容が、本業務と同等以上で、成果において具体的な検討等が確認できる	7
		・業務内容が、本業務と同等	4
		・業務内容が、本業務の一部	1
合計	—	—	35

※評価点は、委員一人当たりの持ち点を示す。

表2 業務実施計画等

選定評価項目	観点	配分	評価点
業務実施方針 (6点)	本市の特性及び本業務に関する理解度は十分か	特に優れている 優れている 普通 不十分	6 4 2 0
条件整理等の 実施方針 (16点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都心地区の魅力向上、賑わい創出に向け、公共施設の活用に関する方向性整理（戦略立案）の進め方が有効か</li> <li>・ 想定される具体的な課題や方向性（立地誘導機能等）の整理につながる有効な調査、分析の実施方針となっているか</li> </ul>	特に優れている 優れている 普通 やや不十分 不十分	16 12 8 4 0
マーケット調査 等の実施方針 (12点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マーケット調査等におけるヒアリング事業者等の選定の考え方及びヒアリング内容等が効果的な提案となっているか</li> </ul>	特に優れている 優れている 普通 やや不十分 不十分	12 9 6 3 0
官民連携事業導 入に向けた事業 手法検討方針 (12点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 官民連携事業の導入可能性や実施手法の検討に係る手順や内容等について、具体的な提案となっているか</li> </ul>	特に優れている 優れている 普通 やや不十分 不十分	12 9 6 3 0
工程計画 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実現性が高く、また、効果的かつ円滑に業務を遂行する工程計画となっているか</li> </ul>	特に優れている 優れている 普通 不十分	5 3 1 0
取組意欲 (4点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務への積極的な提案・意見がなされているか</li> <li>・ 質疑に対する回答が明瞭で、かつ、業務に対し前向きな姿勢がみられるか</li> </ul>	特に優れている 優れている 普通 やや不十分 不十分	4 3 2 1 0
価格評価（10 点）	$\text{価格点数} = (1 - (\text{提案価格} / \text{提案限度額})) \times 10 \text{点}$ <p style="text-align: right;">※10点を上限 小数点以下は四捨五入</p>		10
合計	-		65

※評価点は、委員一人当たりの持ち点を示す。